

黒潮ブランド商品の認定は

2品目10商品を認証



議員 徳昭 的り あき 亀沢 かめ ざわ

問 9月議会で黒潮ブランド

商品認定について質問をした時には、10月に第一回の認定委員会を4名の委員で開催するとの答弁だった。その後の経緯について伺う。

答 森下 産業推進室長

黒潮町には黒砂糖、天日塩等の基本調味料である「さしすせそ」が揃っていることから購買者の信頼を高め、地域産業活性化を目指す黒潮町ブランド、さしすせそ商品認証制度を設け、第一回目の認証

審査会を10月24日、25日に開催した。委員は、(有)良品工房

社長白田典子（東京都）、高知県食品外販協同組合営業部長湯川多恵子（大阪府）、高知割烹学校長高橋本、(株)サンマーマーケット商品企画部担当岡林真央の4氏に審査をお願いした。その結果、天日塩6商品、魚醬4商品の2品目10商品が今回認証された。

問 TPPに参加となった場

合、町の農業について、農協との連携も含めて町としてどのような対策を考えているか。

答 大西町長

TPP交渉については、国の議論、情報提供が不十分であり有効な対策を講じるための課題構造と環境が把握されていない。現段階で市町村単

位での有効な対策を講じることは不可能であると認識している。

震災対策

避難タワー設置は

5地区に
5基を設置

問 避難タワーの設置状況に

ついてと、構造、設置後の管理及び避難通路のスロープ化や、避難ステージの円形化について伺う。

答 松本 情報防災課長

町内全域で実施したワークシヨップ7地区10件の要望があり意見交換の結果、万行、町、浜の宮、早咲、横浜の5地区に5基の設置を実施する。構造については、県の津波タワー設計手引書に準じて設計を行う。避難通路のスロープ化については、建物の設計上困難であると考ええる。円形については、県の手引書の中に制約はないが、津波の波圧に対して最も強い設計を考え

ている。また管理については、各地域の自主防災組織と協議していく。

問 県は高知新港に人工の高台設置計画を発表したが、町にはその可能性があるか。

答 松本 情報防災課長

県は、高知新港内に仮設の盛り土55万㎡を活用して高台

を整備し、最大クラスの津波から命を守る対策を計画している。

黒潮町での人工高台については、入野松原周辺を中心に専門家に意見を聞いているところである。

入野松原周辺への高台造成は、住民及び利用者にとって有効であり、実現の可能性について、安全性を含めて情報収集に努める。



今回認証された商品